

市では、これまで高浜が歩んできた歴史や人々の記憶を知り、市の有形・無形の資料を整理して後世へ伝えるとともに、今を生きる私たち、そして将来のまちづくりに活かしていくことを目的として、市民の皆さんの協力を得ながら、新たな「高浜市誌」の編さんを進めています。
編さん作業の中で掘り起こされた写真や資料などを中心に、まちのこれまでのあゆみや魅力・自慢などを紹介します。「こんなこと知っている!」「他にもこんなことがあったよ!」といった情報がありましたら、お寄せください。

Takahama-city Archive
たかはま
アーカイブ

Vol. 22



地固め、絆も固まる



▲昭和12年ごろ・吉浜神明社新築工事での集合写真
(写真：吉浜まちづくり協議会提供)



▲昭和54年・吉浜公民館文化祭における、地築歌の実演
(写真：吉浜まちづくり協議会提供)

現在、建築物の土台を強固にする方法として、大型杭打機の使用や地盤改良があります。
しかしかつては、人力で地築石や大きな丸太を引き上げ、一気に落下させるという方法で地盤を固めていました。その際にはタイミングを合わせるために「地築歌」や「堂築歌」と呼ばれる歌に合わせて作業を行いました。個人の家を建てる際には親戚や近所の

人が、寺社の際にはその周辺に住む人たちだけでなく、近隣のまちからも応援が来たといわれます。
吉浜の神明社（芳川町2丁目）では、昭和12年（1937）に拝殿が新築されました。吉浜地区には、その工事の際に撮影した写真や、地築歌が書かれた文書が残っています。写真からは、櫓を埋め尽くすほど大勢の人が仕事にかかわっていたことがわかります。

さらに昭和54年（1979）、吉浜公民館文化祭において、老人クラブの有志による地築歌の実演が行われました。その中には神明社拝殿の工事に参加した方がいたかもしれません。
地域の住民が、力を合わせてひとつのことを成し遂げる。そんな「地域の絆」をこれからも大切にしていきたいですね。
(T・M)

問合せ先 **いきいき文化スポーツグループ** ☎52-1111 (内線330)

高浜を愛し、高浜の良さを学んで高浜でたくましく生きる未来市民の育成

「学校」「家庭」「地域」が一体となって子どもたちを育むため、毎月のめざす生活習慣・学習習慣を皆さんと共有します。

- 1月 自分のまちを大切にする子
- 〈めざす年長児〉ともだちやみぢかなひととなかよくします。
- 〈めざす小6生〉友達や学校を大切に思い、役に立つことを進んで行います。
- 〈めざす中3生〉家庭や地域を大切に思い、役に立つことを進んで行います。

高浜市が育てていきたい生活習慣・学習習慣育成プロジェクト

いきいき教育センターグループ ☎52-1111 (内線311)

ポルトガル語は
27ページ

LEIA A PÁGINA EM PORTUGUÊS!

市公式ホームページでは、英語・中国語・韓国語・ポルトガル語の4か国への変換機能を利用できます。

早期配布にご協力ください。